

インボイス廃止の機運を

最大限に声上げ続け最後まで抗いたい

STOP!インボイス愛知支部 廣瀬 仁亮さん

先の参院選で自公過半数割れ。民意によって現政権への審判が下された格好になった。少しずつ手繰り寄せてきた「インボイス廃止」の機運を、今こそ最大限に高めていきたい。

長い闘いに腹くくり

私がSTOP!インボイスの運動に参加したのが2022年の参院選直前だった。仕事仲間にフリーラン



スが多く、このままでは皆共倒れになってしまふとの思いから、STOP!インボイスに参加した。初めての市民運動で右も左もわからず、参院選中は一点突破で「インボイス反対!」と訴えた。全方位に不合理な制度だということが世の中に広まれば、すぐに中止・廃止になるだろうと考えていたが、当時の参院選時には局所的な盛り上がりはあったものの思うほど運動が広がらず、選挙結果も当時の政権を是認する格好となっていた。「そう簡単には止まらない」という現実を突きつけられながら、これから続くであろう長い闘いに腹をくくった。

全国一揆で活動が加速

STOP!インボイス本隊の活動を進める中、愛知独自の活動も並行して動き出したのが、2023年6

月に行った全国一揆だ。SNS上だけ、東京だけではなく、全国でインボイスに反対している市民を可視化し運動を最大化させようとSTOP!インボイスが呼びかけ、結果として全国20カ所以上で声をあげるこ

地元の活動に知恵絞り

名古屋市内を中心に定期的に街宣やデモを行ったり、シンポジウムを開催、地元議員・候補者への陳情、愛知県議会への請願の提出、名古屋市議会への口頭意見陳述に立たせて頂いたり、名古屋国税局への交渉に同行させて頂くなど、市民運動初心者の自分たちが、さまざまな手法で声をあげることができたのは、まぎれもなく、ずっと前から消費税廃止運動などで闘ってこられた先人、団体の皆さんのおかげだ。その礎に合流

させて頂きあらゆる場面で助けて頂いた。そして今も協力関係が続く「インボイスいらんがね実行委員会」という形で毎月会合を開き、地元で何ができるか知恵を絞っている。

全国の声に背中押され

運動は常に手探りで迷いながらという側面もあるが、全国から届く生の声にいつも背中を押してもらっている。STOP!インボイスが2025年3〜4月に実施した「1万人のインボイス実態調査」の結果を見ても明らかな通り、制度開始前にあげられていた懸念点がすべて、当事者の悲痛な声としてあがってきている。民意は制度に対して「ノー」と明確に答えは出ている。社会の裾野がガラガラと音を立てて崩れかけているこの切迫感が、どれだけ国に政治家に伝わるか。今こそ現場の声を真摯に受け止め、政治の不作為を認め、インボイス廃止へ舵を切って頂きたい。

この社会が少しでも良くなるために。おかしいことには「おかしい」と言い続ける。最後まで抗いたい。